

辺野古新基地

安倍政権

本体工事着工を強行



◀ 辺野古岬と大浦湾

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設について、沖縄防衛局は10月29日、新基地ノ一の圧倒的な県民の意思を無視し、本体工事の着工を強行しました。県は国地方係争処理委員会への不服申し立てなど反撃措置をとる構えです。



沖縄 翁長知事「強権極まりり」

翁長雄志知事は着工強行について「強権極まりりという感じで大変残念だ。国に余裕がなく、浮足立っている感じだ」「沖縄の人びとに寄り添うという気持ちはみじんも感じられない」と糾弾しました。

民主主義の国で 日本共産党 こんな強権・無法は許されない

安倍政権のやり方は、県民の総意無視に加え、民主主義のルールを二重三重に踏みしめる無法そのものです。

●国が国を助ける 翁長知事の辺野古埋め立て承認取り消しに対し、国土交通大臣は知事処分の効力を停止しました。沖縄防衛局の申し立てに応じたものですが、「国が国を助ける」というきわめて不公平な構図です。

●約束違反 政府は、本体工事前に県と事前協議をすると約束していました。しかし協議は未了。約束違反です。

●政府答弁書を覆す 政府は、埋め立てに関する知事権限を全面的に奪う「代執行」手続きに着手しました。安倍政権自身が閣議決定した「代執行等を行うことは検討していない」という政府答弁書を覆す暴挙です。

折り目

国民の力で “戦争法なくす政府”を

安保法制



安倍自公政権が強行した戦争法（安保法制）。日本の平和と国民の命を脅かす戦争法は、一刻も早く廃止しましょう。

日本共産党

立憲主義・民主主義とりもどそう

どのような政権でも、国民から負託されているのは憲法に従って政治を行うこと=これが立憲主義です。「選挙で多数をとれば何をやってもいい」というのは、民主主義を否定する独裁政治への道です。

憲法違反の戦争法は廃止し、日本の政治に立憲主義と民主主

義をとりもどす新たなたたかいを起こしましょう。

国政選挙で選挙協力を

日本共産党は戦争法廃止で一致する政党・団体・個人が共同して国民連合政府をつくること、そのために一致する野党が国政選挙で選挙協力を行うことを呼びかけています。

「戦争法廃止の国民連合政府」提案の3項目

- ①戦争法廃止、安倍政権打倒のたたかいを発展させる
- ②戦争法廃止の「国民連合政府」をつくる
- ③政権構想に合意した野党が選挙協力をする

近畿民報

2015年11月 No.1(第214号) 発行/日本共産党国会議員団 近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号 Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115 Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を發表しました。